

## 北川辺地域の自動車輸送の現状について

## 1 現状

北川辺地域には、デマンド型乗合タクシーが北エリアとして1台配車されていますが、他のエリアと比較して利用者数が少ない状況にあります。また、新古河駅西口から済生会加須病院までを結ぶシャトルバスが運行されていますが、令和4年6月の運行見直し後も、利用者数が伸び悩んでいます。

その他の自動車による輸送としては、新古河駅西口構内に民間タクシー車両が1台常駐されていましたが、事業者の都合により、廃止となったことから令和5年8月以降は、営業区域内事業者による北川辺地域への民間タクシーが配車されない状況が続いています。

したがって、北川辺地域にお住まいの方は、民間タクシーを利用しての地域内の移動ができない状況となっています。

【表 1-1】デマンド型乗合タクシー・エリアごとの利用状況

エリア	1台・1日当たりの利用人数		エリア内人口に占める延べ利用者数の割合	
	R4	R5(11月まで)	R4	R5(11月まで)
北エリア	7.6人	8.8人	21.6%	17.4%
中エリア	15.4人	17.0人	32.3%	24.6%
南エリア	12.5人	15.1人	25.9%	21.5%

【表 1-2】シャトルバスの利用状況

時期	利用者数(人)
コロナ前(H30年度)	5,364
見直し直前(R3.1月-R3.12月)	3,502
見直し後(R4.6月-R5.5月)	4,690

【表 1-3】北川辺地域からの自動車輸送手段の現状

出発地及び目的地	民間タクシー	その他の輸送手段	備考
北川辺地域から北川辺・大利根地域	対応事業者なし	デマンド型乗合タクシー (北川辺地域内及び加須東病院、栗橋駅西口、カインズモール大利根、ピアシティ大利根)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地が複数の場合、複数の予約が必要</li> <li>・乗合のため、お迎え・到着時間が不確実</li> </ul>
		シャトルバス (北川辺地内 19 か所の停留所を回り、道の駅童謡のふる里おおとねに到着)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停が固定のため、出発地又は目的地がバス停から遠い場合は利用が困難</li> <li>・ルートが固定のため、必要以上の移動時間がかかる可能性あり</li> </ul>
北川辺地域から加須・騎西地域	加須タクシー(株)	デマンド型乗合タクシー (道の駅童謡のふる里おおとねで乗り継ぎ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地が複数の場合、複数の予約が必要</li> <li>・乗合のため、お迎え・到着時間が不確実</li> <li>・乗り継ぎのため、到着までの時間がかかる</li> </ul>
		シャトルバス (北川辺地内 19 か所の停留所を回り、加須市役所、加須駅、済生会加須病院へ直通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停が固定のため、出発地又は目的地がバス停から遠い場合は利用が困難</li> <li>・ルートが固定のため、必要以上の移動時間がかかる可能性あり</li> </ul>
北川辺地域から県外（古河市など）	県外タクシー会社	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド型乗合タクシー、シャトルバスともに市外乗り入れに対応なし（栗橋駅西口を除く）</li> </ul>

## 2 自動車輸送に係る利便性向上のための方策

北川辺地域の自動車輸送に係る利便性の向上のため、次のような方策が考えられますが、メリットだけではなくデメリットも存在するため、慎重に検討を進めています。

### 【参考】北川辺地域の自動車輸送力充実のための検討中のアイデア

No.	内容	メリット	デメリット
1	同じ営業区域に事務所を有するタクシー事業者への地域内配車又は迎車対応の再開	北川辺地域内を移動する方の利便性が向上	一定の利用者がないと、民間事業者が撤退してしまう
2	他の営業区域に事務所を有するタクシーの地域内運行	北川辺地域内を移動する方の利便性が向上	
3	シャトルバスのルートを一宮市まで延伸	古河市方面へ向かう方の利便性が向上	1便当たりの運行時間の増大 1日当たりの運行本数の減少
4	古河市内にデマンド型乗合タクシーのエリア外乗り入れポイントを設置	古河市方面へ向かう方の利便性が向上	既存利用者の利用機会の減少 →エリア外を運行する時間が増えるため
5	デマンド型乗合タクシーの北エリアと中エリアを統合	加須地域・大利根地域へ向かう方の利便性が向上	既存利用者の利用機会の減少 →エリアが広大になることにより1便当たりの利用者数が減少する可能性があるため →中エリアの利用者との競合になるため
6	シャトルバスを北・中・南エリア共通のデマンド型乗合タクシーに転用	市内各地域に向かう方の利便性が向上	シャトルバス既存利用者の利用機会の消滅 利用料の増加 現システムでの予約対応不可